



すべての人が生涯学び続ける地域社会をつくる

主担当部局：地域振興部



芝生化校での体力向上の取り組み（吉野北小学校）



意欲的に話し合う子どもたち（前栽小学校）

目指す姿

子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し、地域の教育力の充実を図ります。また、すべての県民がいきいきと暮らすため、学び続け支えあえる地域社会を目指します。



●平成31年度までに、学習意欲の高い子どもの割合を

全国平均以上

にします。

●平成31年度までに、規範意識の高い子どもの割合を

全国平均以上

にします。

●平成31年度までに、子どもの体力・運動能力(男女とも、全種目)を

全国平均以上

にします。

●「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」の

満足度

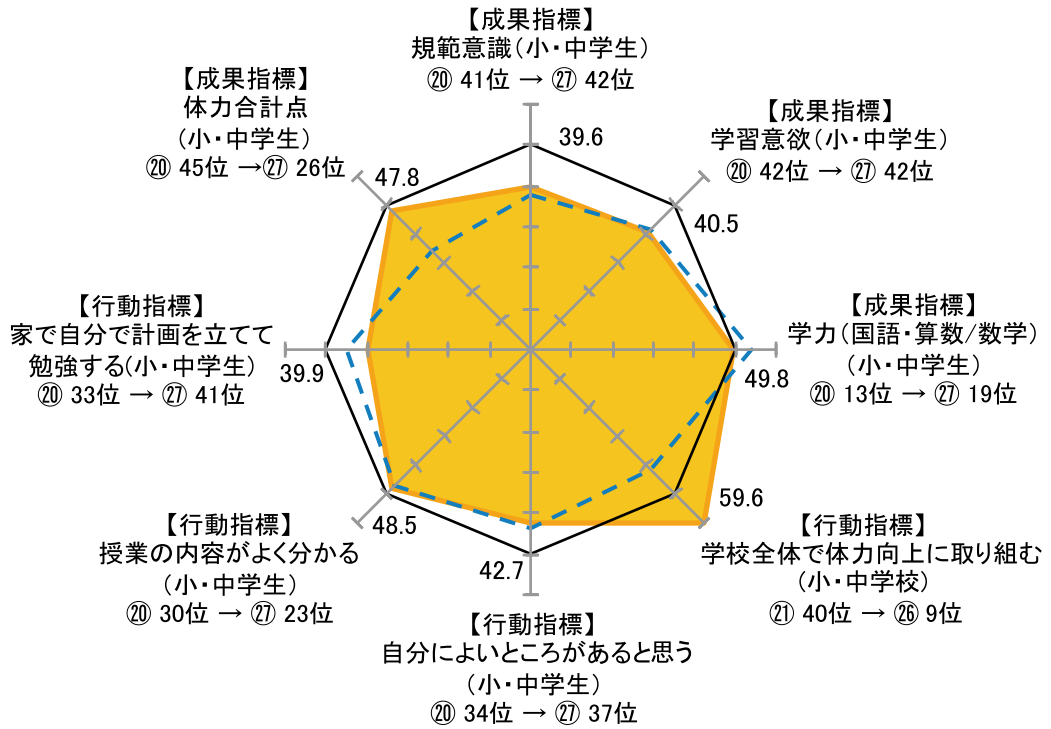
を高めます。

(平成27年度県民アンケート調査(5段階評価)2.99)

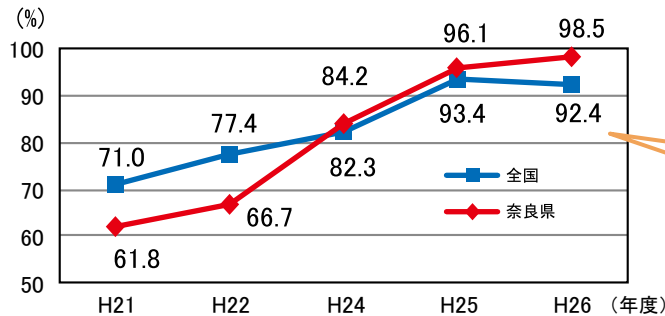
現 状

分析

■ 主な指標



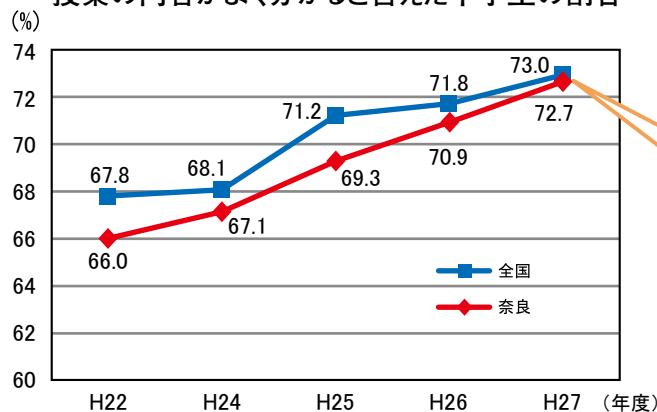
学校全体で体力向上に取り組む小学校の割合



全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省) ※H23は未実施

各校の体力向上推進プランニングシートに基づく取り組みにより5年間で36.7ポイント上昇し、全国平均を上回っています。

授業の内容がよく分かると答えた中学生の割合



全国学力・学習状況調査(文部科学省) ※H23は未実施

各校の学習意欲の向上を目指した授業改善の取り組みにより、5年間で6.7ポイント上昇し、全国平均に近づいています。

戦略1

学びのステージに応じた教育を進めます。

主担当課：地域振興部 教育振興課

戦略目標

- ▶平成31年度までに、授業の内容がよくわかる子どもの割合を全国平均以上にします。(平成27年度：小学生81.5%〈81.5%〉、中学生72.7%〈73.0%〉)
※〈 〉内は全国平均
- ▶平成31年度までに、就学前教育連絡調整会議「保育所・幼稚園合同研修会」における研修会が「役に立った」と回答した参加者の割合を90%にします。(平成26年度：83.5%)
- ▶平成31年までに、県立大学におけるシニアカレッジ、公開講座の開催数、参加者数を260回、のべ20,000人にします。(平成26年度：248回、のべ18,702人)

取り組み

奈良県教育の充実

基礎を培う乳幼児期における保育・教育の充実

学ぶ意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進

高等学校教育の質の向上

生涯にわたる学びを見据えた大学教育の推進

特別なニーズに対応した教育の推進



特別支援学校生徒の職場体験



生きものを見つめる幼児（大宇陀こども園）



元気なならっ子約束運動
幼児のおてっだい



県立大学シニアカレッジ

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
奈良県教育の充実				
◎総合教育会議、奈良県教育サミット	大綱の策定	大綱に基づく取り組みの実施・検証、市町村との意見交換		
◎へき地における教育の振興	指導主事の訪問等によるへき地の学校への教育活動支援			
	ICT(タブレット等)の活用による協働学習の推進			
◎多様な教育機会の確保(私学の振興)	私学助成等を実施			
基礎を培う乳幼児期における保育・教育の充実				
◎就学前教育の研究と取り組みの実践	調査・分析・取り組みの実践			
◎元気なならっ子約束運動の推進	約束ノートの配布・活用による家庭教育の支援、運動の拡大のための啓発			
◎家庭教育の支援	「親学サポートブック」の活用			
学ぶ意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進				
◎奈良県学力・学習状況調査の実施	調査実施・結果分析及び教育現場へのフィードバック			
◎学力向上フォーラムの実施	フォーラムの開催			
◎理数教育の充実	指定校における研究開発			
◎「家庭学習の手引き」等の配布・活用	手引きの作成	手引きの配布・活用		
◎道徳教育の充実	指導資料の作成・活用、推進リーダーの育成			教科化の全面实施
◎うだ・アニマルパークとの連携による「いのちの教育」の展開	生命を尊重する心を育てる学習モデルの研究と啓発			
高等学校教育の質の向上				
◎専門教育の教育内容及び設備の充実	科学技術の進展や産業、社会の変化に対応した教育内容の開発			
	工業高校等備品の整備			
◎シティズンシップ教育の推進	指定校における研究開発、事例集の作成			
◎グローバル教育の推進	指定校における研究開発、英語教育の充実			
◎キャリア教育の充実	サポートセンターの設置	インターンシップの充実		
生涯にわたる学びを見据えた大学教育の推進				
◎県立大学における教育内容の充実	少人数対話型教育(学習コモンズ制)の実施			
◎県立大学における地域貢献	県立大学シニアカレッジの開催			
◎県立大学における国際交流	東アジアサマースクールの開催			
特別なニーズに対応した教育の推進				
◎インクルーシブ教育の充実	県立高等学校への高等養護学校の分教室の設置			

戦略2

本県の教育課題に応じた教育を進めます。

主担当課：教育委員会 企画管理室

戦略目標

- ▶平成31年度までに、子どもの1週間の総運動時間を全国10位以内にします。
(平成27年度:小学生男子615分<627分>、女子335分<385分>、中学生男子992分<970分>、女子641分<698分>) ※〈 〉内は全国10位
- ▶平成31年度までに、先生にあいさつする子どもの割合が9割以上の学校を100%にします。(平成27年度:全学校の平均:小学校87.3%・中学校93.6%、90%以上の学校の割合:小学校47.6%・中学校84.5%)
- ▶平成31年度までに、ひきこもり相談窓口の利用促進を図り、相談件数を年間1,200件以上に増やします。(平成27年度、ひきこもり相談窓口を開設)
- ▶学校におけるキャリア教育・職業教育の実施や社会における学び直し、資格取得によるキャリアアップに向けた取り組みを推進します。

取り組み

規範意識の向上と地域ぐるみで課題に取り組む仕組みづくり

地域への愛着、地域協働、地域・社会貢献人材の育成

いじめや不登校等生徒指導上の諸課題への対応

人権教育の推進

健やかな体の育成と青少年の健全な育成

世界に伍して活躍するグローバル人材の育成

社会的・職業的自立に向けたキャリア・職業教育、就労支援の充実

意欲ある全ての者への学習機会の確保

教職員の資質・能力の向上

安心・安全で質が高い教育環境の整備



県内高校生のボランティア活動(兵庫県内)



親子ふれあい運動教室(真美ヶ丘第一小学校)



みんなあつまれ!いのちがやきフェスティバル
高校生によるブース(うだ・アニマルパーク)



奈良の歴史に関する公開講座



青少年チャレンジフォーラムにおける大学生の課題発表

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
規範意識の向上と地域ぐるみで課題に取り組む仕組みづくり				
◎地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成		地域住民との交流、ボランティア活動の実施		
◎「地域と共にある学校づくり」の推進		学校・地域パートナーシップ事業等(幼・小・中)の推進		
		県立学校の「地域と共にある学校づくり」の推進 (高校生社会参加促進事業 H28～)		
地域への愛着、地域協働、地域・社会貢献人材の育成				
◎郷土教育の充実		小・中学校向け郷土学習の手引き作成		手引きの活用
◎青少年の主体的な活動の支援		青少年チャレンジフォーラムの実施		
いじめや不登校等生徒指導上の諸課題への対応				
◎教育相談機能の充実		スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置		
		県内大学生による不登校児童生徒の支援		
人権教育の推進				
◎人権教育資料の作成・活用		人権教育学習資料集の活用促進、人権教育指導資料等の作成・活用		
◎研修の充実		人権教育各種研修会の開催		
健やかな体の育成と青少年の健全な育成				
◎幼少期における運動遊びの普及		幼少期からの運動習慣形成に向けた支援		
◎子どもが運動やスポーツに親しむための環境整備		幼稚園・県立高校芝生化の推進		
◎青少年を有害情報から守るための取り組み		携帯電話のフィルタリングサービス利用促進の啓発		
世界に伍して活躍するグローバル人材の育成				
◎グローバル教育の推進		指定校における研究開発、英語教育の充実		
社会的・職業的自立に向けたキャリア・職業教育、就労支援の充実				
◎キャリア教育の充実	サポートセンターの設置		インターンシップの充実	
◎若年無業者・ひきこもりへの支援		ひきこもり相談窓口の運営		
		訪問支援・居場所の提供		
		子ども・若者支援地域協議会の設置促進		
意欲ある全ての者への学習機会の確保				
◎子どもの貧困への対応		スクールソーシャルワーカーの配置		
		放課後子供教室、地球未来塾の取り組みの充実		
◎家庭の経済状況等に応じた就学支援		高等学校等就学支援金、私立学校授業料軽減補助金等の支給		
教職員の資質・能力の向上				
◎奈良教育大学との連携による小学校若手教員育成研修システムの構築		小学校若手教員に対する研修システムの開発		システムの活用
◎異なる校種の教職員が参加する研修の実施		幼稚園等と小学校のカリキュラム接続、小・中学校合同の授業研究		
安心・安全で質が高い教育環境の整備				
◎県立学校の耐震化の推進		耐震化の推進		
◎ICTを活用した教育の推進		教員研修の実施、教育環境の整備、ICTの活用		

これまでの成果

奈良県教育サミットを3回実施し、各市町村長および教育長が意見交換をしました。(7月、10月、2月)

平成27年度に青少年の利用する携帯電話に関する出前啓発講座を95回開催しました。(約14,900人受講)

★奈良県総合教育会議を開催し、奈良県教育振興大綱の策定を進めています。

奈良県立大学シニアカレッジを開催し、平成27年度には647人が受講しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

体力合計点
(小学生)

105.7点

(平成20年度 全国41位)



108.3点

(平成27年度 全国30位)

(中学生)

81.9点

(平成20年度 全国47位)



91.5点

(平成27年度 全国20位)

学校全体で体力向上に取り組む学校の増加、児童の外遊びを推進する取り組みの充実などにより、小学生で2.6点、中学生で9.6点上昇しました。

規範意識
(小学生)

90.3%

(平成20年度 全国39位)



93.5%

(平成27年度 全国37位)

(中学生)

88.0%

(平成20年度 全国46位)



92.8%

(平成27年度 全国46位)

規範意識に関する質問項目に肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成20年度から、小学生で3.2ポイント、中学生で4.8ポイント上昇しましたが、全国平均も上昇しているため、全国順位は依然として低位にあります。

学習意欲
(小学生)

78.3%

(平成20年度 全国35位)



81.1%

(平成27年度 全国32位)

(中学生)

65.6%

(平成20年度 全国46位)



71.1%

(平成27年度 全国45位)

学習意欲に関する質問項目に肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成20年度から、小学生で2.8ポイント、中学生で5.5ポイント上昇しましたが、全国平均も上昇しているため、全国順位は依然として低位にあります。



大学生による小学生向けインターネット講習会



東アジアサマースクール

君にもできることがある
君しかできないことがある

高校生社会参加推進活動
平成27年11月1日～平成28年10月31日
主催 奈良県教育委員会・奈良県高等学校長協会・奈良県高等学校生徒指導研究協議会

高校生社会参加推進活動啓発ポスター